◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.334　（2022年度No.12）**　 　2022/4/1

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



↑　これは去年のラインの通知

←　スマホの迷惑メールにはこんなのもあるらしい

　　これは分かりやすいけれど

みんな気を付けましょう

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-9** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **9-10** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **10-25** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **25-28** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **28-37** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

3月25日　　かわら版333号・かわら版ニュース＆トピックス221号を発行。

3月25日　　ニュースレター224号を発行。

3月25日　　ニュースレター224号にて、6/1７の会場参加先行募集開始。

3月29日　　かわら版ニュース＆トピックス222号を発行。

4月01日　　かわら版334号・かわら版ニュース＆トピックス223号を発行。

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***予防接種情報　2022/3/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html>

**■***NEW***ヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～　2022/3/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html>

**■***NEW***HPVワクチンに関するQ&A　2022/3/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_qa.html>

**■***NEW***食品に残留する農薬等の試験法　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/zanryu/zanryu3/index.html>

**■***NEW***食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/zanryu/zanryu3/siken.html>

**■***NEW***「多様化する労働契約のルールに関する検討会」の報告書を公表します。　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24789.html>

**■***NEW***「人生会議」に関する普及・啓発動画を公開しました　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24875.html>

**■***NEW***第１回食品安全制度懇談会　資料　2022/3/29**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24687.html>

**■***NEW***令和４年度輸入食品監視指導計画を策定しました　2022/3/28**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24658.html>

**■***NEW***ヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～　2022/3/28**

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv\_catch-up-vaccination.html](　https:/www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html)

**■***NEW***ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～　2022/3/28**

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>

**■「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」の結果を公表します　2022/3/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24693.html>

　　女性への健康支援の観点から、経済的な理由で生理用品を購入できない女性がいるという「生理の貧困」に関して、問題を抱える女性の分布や心身の健康状態、日常生活への影響等についての実態や現状を調べるため、「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」を実施しました（令和４年２月）。

　この度、調査の結果を取りまとめましたので公表いたします。詳細は、別添の結果概要のとおりです。

　【調査結果のポイント】

　○生理用品の購入・入手に苦労している人の分布（第１表）

「新型コロナウイルス発生後（2020年２月頃以降）、生理用品の購入・入手に苦労したこと」が「よくある」「ときどきある」のは回答者の8.1％（244人）であった。「よくある」「ときどきある」の割合は、年代別にみると30歳未満で、世帯年収別にみると300万円未満の者で、それぞれ高くなっていた。購入・入手に苦労した理由は「自分の収入が少ないから（37.7％）」「自分のために使えるお金が少ないから（28.7％）」「その他のことにお金を使わなければいけないから（24.2％）」等が挙げられた。

○生理用品を購入・入手できないときの対処法（第２表）

生理用品の購入・入手に苦労したときの対処方法として、「よくある」「ときどきある」を合計した割合がもっとも高いのは、「生理用品を交換する頻度や回数を減らす（長時間利用する等）（50.0％）」、次いで「トイレットペーパーやティッシュペーパー等で代用する（43.0％）」「家族や同居者に生理用品をゆずってもらう（39.8％）」「友達に生理用品をゆずってもらう（33.2％）」であった。

○身体的な健康状態（第３表）

生理用品の購入・入手に苦労したときの対処法として、「生理用品を交換する頻度や回数を減らす（長時間利用する等）」「トイレットペーパーやティッシュペーパー等で代用する」「タオルやガーゼ等の布で代用する」を選択した人に対して、生理用品を購入・入手できないときの身体症状について尋ねたところ、「よくある」「ときどきある」の合計は、「かぶれ」が73.5％、「かゆみ」が71.5％で、「外陰部のかゆみなどの症状」 「おりものの量や色の異常」 「外陰部などの発赤、悪臭」 について、いずれも半数を超えていた。

○精神的な健康状態（第４表）

悩みやストレスの尺度である「K6※１」を用いて精神的な健康状態を測定したところ、生理用品の購入・入手に苦労したことが「ある」人の平均値は13.1点で、「心理的苦痛を感じている」とされる10点以上の人が69.3％であった。一方、苦労したことが「ない」と答えた人の平均値は6.4点で、10点以上は31.1％であった。

※１　K6、Kesslerら（2003）。合計得点は０～24点、得点が高いほど精神的な不調が深刻な可能性があるとされる。

○社会生活への影響（第５表）

生理用品を購入・入手できないことを理由とする社会生活への影響については、「プライベートのイベント、遊びの予定をあきらめる（40.1％）」「家事・育児・介護が手につかない（35.7％）」、「学業や仕事に集中できない（34.1％）」などが挙げられた。

○生理用品に関する公的支援制度の認知・利用状況（第６表）

居住地域で行われている生理用品の無償提供の認知については、生理用品の購入・入手に苦労したことが「ある」人のうち、制度があるかが「分からない」は49.6％であった。また、制度を知っている人のうち、利用したことがある人は「17.8％」のみであった。市区町村での無償提供を知っていたが利用しなかった理由として「必要ないから（69.8％）」の他、「申し出るのが恥ずかしかったから（8.5％）」「人の目が気になるから（7.8％）」「対面での受け取りが必要だったから（6.2％）」等が挙げられた。

　　「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」の結果について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000917682.pdf>

**■医薬品等を海外から購入しようとされる方へ　2022/3/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/kojinyunyu/index.html>

**■第27回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会　資料　2022/3/22**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24678.html>

**■令和４年３月23日薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会器具・容器包装部会（オンライン会議）資料　2022/3/22**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24600.html>

**■第77回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第30回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料　2022/3/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00039.html>

**■第６回厚生科学審議会科学技術部会ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用のあり方に関する専門委員会　資料　2022/3/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24601.html>

**■薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会　配付資料　2022/3/17**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24326.html>

**■***NEW***食品中放射性物質の検査結果について（１２８１報）　2022/3/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24473.html>

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　７件**

**No. 679　　 福島県産　　 イノシシ　　 （Cs：190 Bq/kg）　いわき市**

**No. 693 福島県産 イノシシ （Cs：270 Bq/kg）　須賀川市**

**No. 694 福島県産 イノシシ （Cs：280 Bq/kg）　須賀川市**

**No. 695 福島県産 イノシシ （Cs：240 Bq/kg）　須賀川市**

**No. 696 福島県産 イノシシ （Cs：220 Bq/kg）　須賀川市**

**No. 697 福島県産 イノシシ （Cs：320 Bq/kg）　須賀川市**

**No. 698 福島県産 イノシシ （Cs：280 Bq/kg）　須賀川市**

**■***NEW***食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の改正　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24849.html>

　　原子力災害対策本部においては、地方公共団体が実施する食品中の放射性物質検査の検査計画や原子力災害対策特別措置法に基づく出荷制限等の取扱いに関するガイドラインを定め公表しています。

　　本日、令和３年４月以降の検査結果等を踏まえて、原子力災害対策本部がガイドラインの改正を行いましたのでお知らせします。

検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000920657.pdf>

主な改正点

●検査対象品目の見直し（改正後のガイドラインP４-P５、別表、参考）

・直近約１年間の検査結果を踏まえ、検査対象品目を見直し。

改正経緯

平成23年４月４日：「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（ガイドライン）を公表。

平成23年６月27日：放射性ヨウ素の減少を踏まえ、放射性セシウム対策を主眼とするとともに、茶、水産物、麦類の取扱いを規定。検査対象に国民の摂取量の多い食品を追加。

平成23年８月４日：個別品目に牛肉、米の取扱いを追加。

平成24年３月12日：平成23年の検査結果、平成24年４月１日施行の基準値を踏まえた改正。

平成24年７月12日：平成24年４月以降の検査結果及び出荷制限対象食品の多様化を踏まえ、検査対象品目、出荷制限の解除要件等を改正。個別品目に大豆及びそばの取扱いを追加。

平成25年３月19日：平成24年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。水産物や野生鳥獣の移動性及びきのこ等の管理の重要性等を考慮した出荷制限等の解除要件等について改正。個別品目に原木きのこ類を追加。

平成26年３月20日：平成25年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。検査対象品目に事故後初めて出荷するものであって、検査実績が無い品目を追加。

平成27年３月20日：平成26年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。牛肉の検査頻度について、農家ごとに３ヶ月に１回程度から、12ヶ月に１回程度とすることができることを追加。

平成28年３月25日：平成27年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。関係者の意向を十分に踏まえて、新たな検査体制とその導入時期の検討等を追記。

平成29年３月24日：原発事故から５年以上が経過し、放射性物質濃度が全体として低下傾向にあり、基準値を超える品目も限定的となっていること等を踏まえ、栽培/飼養管理が可能な品目群を中心に検査を合理化及び効率化。これまでの検査結果の集積を踏まえた検査対象自治体、検査対象品目、出荷制限等の解除の考え方等の見直し。

平成30年３月23日：平成29年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。

平成31年３月22日：平成30年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。個別品目に野生鳥獣の肉類を追加、大豆を削除。

令和２年３月23日：平成31年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。個別品目の牛肉の取扱いの見直し。

令和３年３月26日：令和２年４月以降の検査結果の集積を踏まえた検査対象品目及び検査対象自治体の見直し。個別品目のきのこ・山菜類等の取扱いの見直し。

参考

食品中の放射性物質の検査及び出荷制限等に関する情報（厚生労働省ホームページ）

* [食品中の放射性物質の検査結果](https://www.mhlw.go.jp/stf/kinkyu/0000045250.html)
* [関係都県が定めた食品中の放射性物質の検査計画](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000203508_00011.html)
* [出荷制限等の品目・区域の設定の経緯](https://www.mhlw.go.jp/stf/kinkyu/2r9852000001dd6u.html)
* [出荷制限等の品目・区域の解除の経緯](https://www.mhlw.go.jp/stf/kinkyu/2r9852000001ddg2.html)
* [現在出荷制限等の指示が出されている品目・区域の一覧](https://www.mhlw.go.jp/stf/kinkyu/0000030874.html)

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷の取扱いについて**

**（原子力災害対策本部長指示）　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24845.html>

本日、原子力災害対策本部は、福島県から提出された「令和４年産米(2022年産米)に関する福島県管理計画」を踏まえ、福島県に対し、福島県の一部地域※で産出される令和４年産米(2022年産米)のうち、県の定める管理計画に基づかない米の出荷制限を指示しました。

１福島県の一部地域（※）で産出される令和４年産（2022年産）の米のうち、県の定める管理計画に基づかない米について、本日付けで、福島県に対し出荷制限が指示されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から福島県への指示は別添１のとおりです。

（２）福島県の管理計画は別添２のとおりです。

※福島県富岡町（平成30年３月９日に認定された特定復興再生拠点区域に限る。）、大熊町（平成24年11月30日付け指示により設定された帰還困難区域（平成29年11月10日に認定された特定復興再生拠点区域を除く。）を除く区域に限る。）、双葉町（平成25年５月７日付け指示により設定された帰還困難区域（平成29年９月15日に認定された特定復興再生拠点区域を除く。）を除く区域に限る。）、浪江町（平成29年12月22日に認定された特定復興再生拠点区域に限る。）、葛尾村（平成30年５月11日に認定された特定復興再生拠点区域に限る。）、飯舘村（平成30年４月20日に認定された特定復興再生拠点区域に限る。）

２なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

参考１原子力災害対策特別措置法　－抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条　（略）

２　原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０　（略）

参考２「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

* [（別添１）［PDF形式：218KB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000921742.pdf)
* [（別添２）［PDF形式：284KB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000920662.pdf)
* [（参考資料）［PDF形式：643KB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000920661.pdf)

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除**

**（原子力災害対策本部長指示）　2022/3/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24815.html>

　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた以下について、解除を指示しました。

（１）福島県福島市で産出されたユズ

（２）宮城県丸森町まるもりまち（旧金山町かねやままち、旧舘矢間村たてやまむら及び旧大張村おおはりむらの区域に限る）で産出されたタケノコのうち、県の定める出荷・検査方針（※）に基づき管理されるもの

（※）非破壊式放射能測定装置を用いて、スクリーニング検査を行い、スクリーニングレベル以下のものは出荷等が可能。

１　福島県に対し指示されていた出荷制限の品目のうち、福島市で産出されたユズについて、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から福島県への指示は別添１のとおりです。

（２）福島県の申請は、別添２のとおりです。

２　宮城県に対し指示されていた出荷制限の品目のうち、丸森町（旧金山町、旧舘矢間村及び旧大張村の区域に限る）で産出されたタケノコのうち、県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるものについて、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から宮城県への指示は別添３のとおりです。

（２）宮城県の申請は、別添４のとおりです。

３　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

[（別添１）（PDF:293KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000921744.pdf)  
[（別添２）（PDF:594MB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000921755.pdf)  
[（別添３）（PDF:96KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000921757.pdf)  
[（別添４）（PDF:751MB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000920665.pdf)  
[（参考資料）（PDF:643KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000920667.pdf)

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２８０報）　2022/3/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24403.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.7/ 2022（2022.03.30）　2022/3/30**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202207m.pdf>

**目次**

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバク

ター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 3 月 22 日、15 日

付更新情報）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter）感染症を調

査（2022 年 3 月 25 日、15 日付更新情報）

2. スティックサラミに関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（Salmonella I 4,[5],12:i:-）感染アウトブレイク（2021 年 12 月 8 日付最終更新）

**【Morbidity and Mortality Weekly Report（CDC MMWR）】**

1. 主に食品を介して伝播する病原体による感染症の罹患率が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック中に減少 － 食品由来疾患アクティブサーベイランスネットワークの米国内 10 カ所のサイトでのデータ（2017～2020 年）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 旅行と関連のないサイクロスポラ感染を調査（2021 年 10 月 14 日付最終更新）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 欧州連合（EU）域内の人獣共通感染症に関する One Health の観点からの報告書（2020年）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. 欧州食品安全機関（EFSA）が「欧州連合（EU）域内の人獣共通感染症に関する One Health の観点からの 2020 年次報告書」を発表

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（09）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.7/ 2022（2022.03.30）　2022/3/30**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202206c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202206c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【別添：FSAI】 食品安全研究の優先項目 2022**

アイルランド食品安全局（FSAI）のリスク評価・リスク管理の業務を進展させ、公衆衛生の保護を支援するための優先研究分野を概説している。FSAI は、研究助成機関や研究者に対し、これを研究の募集や提案を行う際の参考資料として引用することを推奨する。

＊ポイント： FSAI の将来構想が伝わってくる一冊です。食品安全の分野で必要とされる研究課題が具体的にまとめられています。アイルランドの現状を踏まえたものですが、日本の食品安全行政にも当てはまる課題も多く関係者にはよい参考になるでしょう。

**【FDA】 FDA は安全性レビューの結果、ゲノム編集肉牛由来製品の販売は低リスクで**

**あると決定**

米国食品医薬品局（FDA）は、Acceligen 社から提出された資料をもとに、2 頭のゲノム編集肉牛とそれに由来する製品（例：子孫、精液、胚）や食品について、意図的なゲノム改変（IGA）による安全上の懸念はないと判断し、低リスク決定を行ったと発表した。

FDA は、それらの製品や食品を市場に流通させることに異論を述べるつもりはない。これは食用となる動物の IGA の自由裁量について FDA が下した初めての低リスク決定である。この肉牛は PRLR-SLICK 牛と呼ばれ、極端に短いスリック毛を持つのが特徴である。高い気温によるストレスを受けにくく、食料生産の向上につながる可能性がある。早ければ 2 年後には一般消費者が購入できる食肉製品が発売されるものと見込んでいる。

＊ポイント： スリック毛の肉牛は従来型の繁殖技術による生産でも自然の突然変異によって生まれており、それらの遺伝子変異との同等性と、それらの牛由来の食品を数年にわたり安全に食してきたことを、FDA が低リスクと判断した主な理由に挙げています。

**【FDA】 意図的異物混入から食品を保護するための緩和戦略に関する FSMA 最終規則**

FDA 食品安全近代化法（FSMA）の最終規則は、食品供給を標的としたテロ行為など、公衆衛生に広範な被害をもたらすことを意図した行為による意図的異物混入を防止することを目的としている。特定の食品やハザードを対象とするのではなく、特定の登録食品施設における工程でのリスク低減戦略を要求している。最終規則は、一部の例外はあるが、食品施設として FDA に登録が必要な国内・海外の企業に適用される。

**【MFDS】 国内流通食品のマイクロプラスチック汚染レベルの調査結果**

韓国の食品医薬品安全処は、国内で流通している海藻類、塩辛類、外国でマイクロプラスチック汚染が報告された食品など合計 11 種 102 品目を対象に、2020 年～2021 年にマイクロプラスチックの汚染実態と暴露量を調査した。その結果、懸念されるレベルではないと結論した

＊ポイント： マイクロプラスチックについては国際的に認められた分析法がないことが解決すべき課題の一つですが、MFDS は入手可能な研究報告をもとに独自に分析法を開発したようです。各食品 1 g あたりに含まれる量が示されていて興味深いです

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.7/ 2022（2022.03.30）　別添　2022/3/30**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202207ca.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第854回）の開催について　2022/3/31　一回飛ぶようです**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年4月5日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、4月4日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、4月5日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年2月26日から令和4年3月11日）2022/3/24**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=2&from_day=26&to=struct&to_year=2022&to_month=3&to_day=11&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/31**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220331.html>

　　農林水産省は、3月31日（木曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ミネソタ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ミネソタ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月31日（木曜日）にミネソタ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）ミネソタ州からの生きた家きんは令和3年11月29日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ミネソタ州ミーカー郡、モーア郡及びスターンズ郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件について基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

**令和3年10月8日付けプレスリリース「米国カリフォルニア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211008.html>

**令和3年11月29日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_3.html>

**令和4年1月13日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220113_7.html>

**令和4年2月10日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220210_8.html>

**令和4年2月17日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220217.html>

令和4年2月18日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220218_8.html>

令和4年2月21日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221_2.html>

**令和4年2月22日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220222_5.html>

**令和4年2月25日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220225.html>

**令和4年3月4日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304.html>

**令和4年3月9日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220309.html>

**令和4年3月11日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220311.html>

**令和4年3月15日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220315.html>

**令和4年3月16日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220316.html>

**令和4年3月17日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220317.html>

**令和4年3月18日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220318_4.html>

**令和4年3月22日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220322_2.html>

**令和4年3月23日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220323.html>

**令和4年3月24日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220324.html>

**令和4年3月28日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220328.html>

**令和4年3月29日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220329_2.html>

**令和4年3月30日付けプレスリリース「米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220330_4.html>

**これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。**

**動物検疫所：**<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***魚の鮮度の試験方法に関するJASを制定！　2022/3/31**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ninsyo/220331.html>

　～分析によって魚の鮮度を数値で「見える化」し、日本産水産物の輸出促進が期待されます～

魚類の科学的な鮮度評価指標である「K値」の試験方法について、JASが新たに制定されましたのでお知らせします。

日本産の生鮮水産物の鮮度を科学的に評価することで、輸出促進を図る効果が期待されます。

JAS…日本農林規格

**1． JAS制定の経緯について**

**生鮮水産物の輸出量は年々増加し、更なる輸出拡大が期待されています。しかし、海外の生鮮水産物の流通現場では見た目によって評価されており、日本の活け締めの魚は魚体に傷があるということだけで低く評価されるケースがあります。**

**このため、活け締め等の鮮度保持技術の優位性を証明し、日本産生鮮水産物の差別化を図ることを目的として、科学的な鮮度評価指標である「K値」の試験方法に関するJASを制定致しました。**

**2． JAS制定による効果について**

**本JAS制定により、魚類の鮮度を見える化することが可能となります。特に、海外において日本産の生鮮水産物が、魚体に傷がある活け締めの魚も含めて、見た目ではなく科学的な数値による適正な評価を得ることで、輸出促進の効果が期待されます。**

**<参考>**

**日本農林規格「魚類の鮮度（K値）試験方法－高速液体クロマトグラフ法」については、こちらを御覧ください。**

[https://www.maff.go.jp/j/jas/jas\_kikaku/kikaku\_itiran2.html#shiken](https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/kikaku_itiran2.html%23shiken)

**<添付資料>**

**魚類の鮮度（K値）試験方法JASについて**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ninsyo/attach/pdf/220331-2.pdf>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/30**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220330_4.html>

　　農林水産省は、3月25日（金曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）サウスダコタ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国サウスダコタ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月25日（金曜日）にサウスダコタ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置（※1）の対象範囲を以下のように変更しました。

（参考）サウスダコタ州からの生きた家きんは令和4年3月7日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

サウスダコタ州全域

**■***NEW***宮城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内17例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/3/30**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220330.html>

　　宮城県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内17例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）宮城県石巻市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内17例目、3月25日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***全47都道府県の「うちの郷土料理」が勢ぞろい！　2022/3/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220329.html>

**～1,300品目以上の圧倒的な情報量に～**

**農林水産省では、地域固有の多様な食文化を保護・継承していくため、都道府県別に30品目程度の郷土料理を掲載し、各郷土料理の解説やレシピなどを一元的に「うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」としてデータベース化し、情報発信を行っています。**

**今回、20都府県579品の追加掲載をしましたのでお知らせします。これにより掲載品目数は1,365となり、全47都道府県の郷土料理が勢ぞろいしました。**

**1.郷土料理データベース「うちの郷土料理」の紹介**

**「和食;日本人の伝統的な食文化」は、来年（2023年）でユネスコ無形文化遺産に登録されて10周年を迎える中、食の多様化や家庭環境の変化等を背景に、地域固有の多様な食文化を受け継ぎ伝えることが難しくなってきており、伝え方の工夫がこれまで以上に重要となってきています。**

**農林水産省では、全国各地の郷土料理を次世代に継承していくことを目的として、令和元（2019）年度からWebサイト「うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」を公開しています。**

**点在している全国各地の郷土料理をデータベース化し、豊富な情報量と解説が魅力のこのWebサイトは、公開情報が広く教育現場で活用されるのみならず、テレビ番組・新聞・雑誌・Webメディアなどでの掲載や紹介も多く、注目度の高いものとなっています。**

**今回、全都道府県の郷土料理掲載に向けて、20都府県の郷土料理579品目の情報を追加します。これにより、掲載品目数は1,365となり、47都道府県の郷土料理が勢ぞろいしました。**

**また、郷土料理の情報に加え、「AREA STORIES（エリアストーリーズ）」として、地域の風土や食文化に関する情報を、動画も交えて掲載しています。**

**（追加する20都府県）**

**岩手県、秋田県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、富山県、岐阜県、静岡県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、佐賀県、長崎県、沖縄県**

**2.「うちの郷土料理」の活用方法**

**「うちの郷土料理」は、以下のように活用できます。**

**（1）全国各地の郷土料理を「知る」ことができます。**

**郷土料理の伝承地域や使用食材、歴史・由来・関連行事、食習の機会や時季、保存・継承の取組などを「知る」ことができます。**

**（2）掲載している郷土料理を「作る」ことができます。**

**郷土料理のレシピを掲載しており、このうち一部（161品目）は、調理動画も参考に、「作る」ことができます。**

**（3）郷土料理の画像を「活用する」ことができます。**

**郷土料理の画像を、ダウンロードして「活用する」ことができます。**

**活用する場合は、事前に農林水産省Webサイト「リンクについて・著作権」を確認いただき、記載されているルールへの同意が必要です。**

**3.参考**

**うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～**

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/index.html>

**うちの郷土料理プレス素材QR TOP**



**＜添付資料＞**

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/about/index.html>

**うちの郷土料理プレス素材QR ABOUT**



**・うちの郷土料理リーフレット（A4観音開き、47都道府県の郷土料理を掲載）**

**・令和3年度郷土料理一覧（令和3年度追加分）**

**■***NEW***カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220329.html>

**農林水産省は、3月28日（月曜日）にカナダのオンタリオ州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**カナダのオンタリオ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、カナダ家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**カナダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月28日（月曜日）にオンタリオ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました（※）。**

**令和4年1月17日付けプレスリリース「カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220114.html>

**令和4年2月7日付けプレスリリース「カナダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220207_4.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220329_2.html>

**農林水産省は、3月29日（火曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ミシガン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ミシガン州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月29日（火曜日）にミシガン州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）ミシガン州からの生きた家きんは令和4年2月25日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**ミシガン州マコーム郡（発生郡）**

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220328_1.html>

**農林水産省は、3月25日（金曜日）に英国のエアシャー州及びレンフルーシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**英国のエアシャー州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、本発生により設定された制限地域が隣接するレンフルーシャー州に及んだ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月25日（金曜日）にエアシャー州及びレンフルーシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。**

**（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。**

**令和2年11月4日付けプレスリリース「英国からの生きた家きんの一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201104.html>

**令和2年11月27日付けプレスリリース「英国からの生きた家きんに関する一時輸入停止措置の**

**コンパートメント主義を適用した一部解除について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201127_8.html>

**令和3年11月8日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211108.html>

**令和3年11月9日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211109.html>

**令和3年11月17日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211117_19.html>

**令和3年11月24日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211124_3.html>

**令和3年12月1日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211201_10.html>

**令和3年12月7日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_3.html>

**令和3年12月8日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208_7.html>

**令和3年12月10日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211210.html>

**令和3年12月13日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211213_3.html>

**令和3年12月16日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211216_8.html>

**令和3年12月22日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211222.html>

**令和3年12月27日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211227_6.html>

**令和4年1月11日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220111_4.html>

**令和4年1月31日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220131_7.html>

**令和4年2月14日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220214_4.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220328.html>

**農林水産省は、3月28日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）メイン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国メイン州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月28日（月曜日）にメイン州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）メイン州からの生きた家きんは令和4年2月21日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**メイン州カンバーランド郡（発生郡）**

**■***NEW***栃木県における豚熱の確認（国内77例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/3/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220325_4.html>

　　本日、栃木県那珂川町の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け、農林水産省は本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、　今後の防疫方針について確認します。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：栃木県那珂川町

飼養状況：約1,200頭

2.経緯

（1）栃木県は、昨日（3月24日（木曜日））、同県那珂川町の農場から、死亡豚がいる旨の通報を受け、病性鑑定を実施。

（2）栃木県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（3月25日（金曜日））、豚熱の患畜であることが判明。

**■***NEW***諫早湾干拓事業に係る請求異議訴訟に対する判決について　2022/3/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nouti/220325.html>

　　本日、平成22年の福岡高等裁判所の確定判決に係る請求異議訴訟の差戻し後控訴審（福岡高等裁判所）において、国の請求を認める内容の判決が出されました。

このことについて、金子農林水産大臣のコメントを公表します。

農林水産大臣コメント

1. 本日、平成22年の福岡高等裁判所の確定判決に係る請求異議訴訟の差戻し後控訴審（福岡高等裁判所）において、国の請求を認める内容の判決が出されました。

2. 引き続き、諫早湾干拓事業をめぐる一連の訴訟について、関係省庁と連携しつつ、適切に対応してまいります。

3. なお、国としては、平成29年の農林水産大臣談話で示した「開門によらない基金による和解を目指すことが問題解決の最良の方策」であるとの考えには、変わりはありません。

添付資料

平成29年 農林水産大臣談話

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nouti/attach/pdf/220325-1.pdf>

**■新たな「水産基本計画」の決定について　2022/3/25**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kikaku/220325.html>

**■新たな「漁港漁場整備長期計画」について　2022/3/25**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/keikaku/220325.html>

**■令和3年度福島県産農産物等流通実態調査結果について　2022/3/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ryutu/220325.html>

　　農林水産省は、福島県産農産物等の販売不振の実態と要因を明らかにするため、福島復興再生特別措置法に基づき、福島県産農産物等の生産・流通・販売段階の実態を調査し、取りまとめましたので、公表します。

1.調査概要

令和3年度は以下の点について調査を行いました。

(1)重点6品目（米、牛肉、桃、あんぽ柿、ピーマン、ヒラメ）の出荷量と価格の推移、流通段階ごとの価格形成事例

　 (2)福島県産品に対する納入業者と納入先の認識の齟齬

　(3)福島県産品の取扱いを拡大するためのマーケティング実証

　(4)水産物の漁獲量の変動による価格動向の分析

2.調査結果

令和3年度調査で次の実態が明らかになりました。

　 (1)重点6品目（米、牛肉、桃、あんぽ柿、ピーマン、ヒラメ）について、

　 ア 出荷量は震災前の水準まで依然回復していない。

　 イ 全国平均との価格差は徐々に縮小しているが、 牛肉、桃など全国平均を下回る品目も見られる。

　(2)仲卸業者等の「納入業者」が、納入先の福島県産品の取扱姿勢を実態よりも低く評価している認識の齟齬は総じてやや改善。

　(3)福島県産品の価格回復を図っていくには、対象品目ごとに課題を調査・整理し、仮説を立ててマーケティング活動に取り組むことが重要。

　 (4)福島県産水産物の価格は、流通量よりも季節性が関与していることが明らかになった。また、流通事業者の要望する漁獲量増加や安定供給に向けて、関係者が連携し、出荷量の増大に計画的に取り組むことが大切。

3.関連URL

調査結果の詳細については、以下リンクに掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/ryutu/R3kekka.html>

**■宮城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内17例目）について　2022/3/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220325_3.html>

　　本日（3月25日（金曜日））、宮城県石巻市の肉用種鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内17例目）されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：宮城県石巻市

飼養状況：肉用種鶏（約3.2万羽）

2.経緯

（1）昨日（3月24日（木曜日））、宮城県は、同県石巻市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明しました。

（3）本日（3月25日（金曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■日米貿易協定に基づく牛肉セーフガードに関する協議の実質合意について　2022/3/24**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/keizai/220324.html>

　　今般、日本政府と米国政府との間で継続されてきた日米貿易協定に基づく牛肉セーフガードに関する協議において、実質合意に至りました。

日米貿易協定に基づく牛肉セーフガードに関する協議の実質合意について

本協議は、2021年3月18日に我が国において日米貿易協定に基づき米国産牛肉に対するセーフガード措置がとられたことを受けて、2019年10月7日に日米貿易協定に関連して作成された二国間の交換公文に基づき開始されたものであり、その後の累次にわたる協議を経て、今般、実質合意に至ったものです。

添付資料

牛肉セーフガード協議に関する合意の概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/keizai/attach/pdf/220324-2.pdf>

**■フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/24**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220324_1.html>

　　農林水産省は、3月22日（火曜日）にフランスのイル・エ・ヴィレーヌ県からの生きた家きん家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

フランスのイル・エ・ヴィレーヌ県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月22日（火曜日）にイル・エ・ヴィレーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました（※）。

**令和2年11月18日付けプレスリリース「フランスのオート・コルス県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201118_3.html>

**令和2年11月24日付けプレスリリース「フランスのイヴリーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201124_6.html>

**令和3年2月1日付けプレスリリース「フランスのアルデンヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210201.html>

**令和3年3月17日付けプレスリリース「フランスのオー・ラン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210317_3.html>

**令和3年4月26日付けプレスリリース「フランスのバ・ラン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210426.html>

**令和3年9月21日付けプレスリリース「フランスのエーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210921.html>

**令和3年11月29日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_2.html>

**令和3年12月20日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211220.html>

**令和3年12月23日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211223_3.html>

**令和4年1月5日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220105_5.html>

**令和4年1月17日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220117.html>

**令和4年2月14日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220214_3.html>

**令和4年2月18日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220218_9.html>

**令和4年2月21日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221.html>

**令和4年3月7日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220307.html>

**令和4年3月16日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停**

**止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220316_1.html>

**令和4年3月17日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220317_4.html>

**■シンガポール向け家きん由来製品の輸出再開について（千葉県及び岩手県）　2022/3/22**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220322.html>

　　本日より、千葉県及び岩手県からのシンガポール向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

両県からの輸出再開をもって、全国からのシンガポールへの家きん由来製品輸出が可能となりました。

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、高病原性鳥インフルエンザが発生した10県のうち、8県についてシンガポール当局から清浄性が認められ、輸出を再開してきたところ、今般、千葉県及び岩手県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所においてシンガポール向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

両県からの輸出再開をもって、全国からのシンガポールへの家きん由来製品輸出が可能となりました。

＜2021年1-12月の輸出額＞

シンガポール向け鶏肉：輸出実績なし（鶏肉の総輸出額13.0億円）

シンガポール向け鶏卵：1.3億円（鶏卵の総輸出額58.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜過去の経緯＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月12日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和3年12月5日：千葉県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年2月12日：岩手県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年1月26日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年2月22日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年3月22日：千葉県及び岩手県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

**■インド向け日本産りんご生果実の輸出が解禁となります　2022/3/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/220319.html>

**今般、インドの植物検疫当局との間で、日本産りんご生果実の同国への輸出に当たっての植物検疫条件について合意に達し、同国へのりんご生果実の輸出が解禁されましたのでお知らせします。**

**概要**

**インドは、日本産りんご生果実について、インドが侵入を警戒する病害虫が我が国で発生していることを理由に、これまで輸入を禁止していました。**

**農林水産省は、産地からの要望を踏まえ、りんご生果実の輸出が可能となるように、インドの植物検疫当局と技術的協議を積み重ねてきました。**

**その結果、今般、日本産りんごに関する植物検疫条件に合意し、本年産の収穫シーズン以降、この条件を満たす日本産りんご生果実の輸出が可能となります。**

**主な植物検疫条件は以下のとおりです。詳細は別添概要をご覧ください。**

**(1)登録生産園地での栽培**

**(2)登録選果こん包施設での選果・こん包**

**(3)消毒処理の実施（低温処理又は臭化メチルくん蒸）**

**(4)原則年1回のインド側検査官による査察**

**(5)輸出検査の実施**

**参考**

**インドへの輸出を検討される方は、最寄りの植物防疫所にお問い合わせいただくようお願いします。**

**植物防疫所ホームページ**

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/outline/index.html>

**添付資料**

**インド向け日本産りんご生果実に係る輸出検疫条件の概要**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/attach/pdf/220319-1.pdf>

**■アサリの産地表示適正化のための対策について　2022/3/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/220318.html>

**令和4年2月1日に農林水産省が公表した「広域小売店におけるあさりの産地表示の実態に関する調査結果概要」において、漁獲量を大幅に上回る量の熊本県産アサリが販売されていることが推測され、科学的分析の結果、農林水産省が買い上げた熊本県産のアサリのほとんどが「外国産アサリが混入されている可能性が高い」と判定されました。**

**このことを受け、消費者庁及び農林水産省は、食品表示の適正化を通じて、消費者の食品表示への信頼を確保できるよう、熊本県や警察など関係機関と連携し、アサリの産地表示適正化のための対策として、以下の対応を行います。**

**1.原産地表示のいわゆる「長いところルール」の適用の厳格化 【資料1】**

**不適正な表示を防ぐ観点から、食品表示基準Q&Aを改正し、いわゆる「長いところルール」の適用の厳格化を行います。**

**(1) 出荷調整用その他の目的のため、貝類を短期間一定の場所に保存することを「蓄養」とした上で、「蓄養」がいわゆる「長いところルール」の算定に含まれないことを明確化。**

**(2) 輸入したアサリの原産地は、蓄養の有無にかかわらず輸出国となる。なお、例外として輸入した稚貝のアサリを区画漁業権に基づき1年半以上(※)育成（養殖）し、育成等に関する根拠書類を保存している場合には、国内の育成地を原産地として表示することができる。**

**(※)輸入したアサリの成育期間の確認が困難なため、アサリの採捕までの一般的な所要年数が3年程度であることを踏まえた整理。**

**(3) 国内の他地域から稚貝のアサリを導入する場合、輸入したアサリを放流したことと区別するため、稚貝のアサリの根拠書類を保存する。**

**2.アサリの産地表示に係る状況の公表**

**本対策の効果を測るため、改正Q&Aの施行1か月後を目途に、アサリの産地表示の状況に関する点検調査を行い、結果を公表するとともに、引き続き疑義事案調査を進める。**

**3.熊本県産アサリのブランド化支援 【資料2】**

**熊本県の「純県産アサリの産地保証制度」による取組に対して支援を行うことは可能。**

**（添付資料）**

**アサリの産地表示適正化のための対策**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220318-3.pdf>

**【資料1】アサリの原産地表示に係るQ＆A案**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220318-2.pdf>

**【資料2】バリューチェーン連携推進事業**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220318-1.pdf>

**【参考】アサリの原産地表示ルールの厳格化**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220318-4.pdf>

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

**■広域小売店におけるあさりの産地表示の点検調査結果について　2022/3/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/220318_6.html>

　農林水産省は「広域小売店におけるあさりの産地表示の点検調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

1.調査の背景及び目的

農林水産省は、令和4年2月1日、「広域小売店におけるあさりの産地表示の実態に関する調査」（以下「実態調査」という。）において、全国の広域小売店で「熊本県産」として販売されているあさりに外国産あさりが混入している疑いがあると考えられるとの結果を公表するとともに食品事業者に対し、水産物の生産、流通及び販売に携わる団体等を通じ、産地伝達の確認や法令遵守の徹底を要請しました。

また、同日、熊本県は「熊本県産アサリ緊急出荷停止宣言」を発出しました。

これらを背景としたあさりの産地表示の現状を確認するため、全国の広域小売店において、2月16日から22日までの間、調査（以下「点検調査」という。）を行いました。

＊広域小売店：事業所、店舗等が複数の都道府県に所在する事業者

2.結果概要

点検調査の結果、「熊本県産」と表示されたあさりの販売は確認されず、販売されているあさりの中で「中国産」と表示されたあさりの割合が全体の7割に達しました。また、あさりを販売する店舗の割合が減少していることを確認しました。

3.今後の対応

農林水産省では、引き続き、以下のとおり関係機関と連携し、実態調査により確認した疑義の解明に取り組みます。

(1)実態調査により確認した原産地表示の疑義について、関係自治体とも連携しながら、速やかに立入検査を実施するなど徹底した疑義解明を行い、不適正な行為を確認した場合は、厳正な措置を行います。

(2)食品表示法違反の行為を確認した場合などには、食品表示連絡会議を構成する各行政機関（消費者庁、警察庁、国税庁、農林水産省）で連携しつつ、厳正な対応に努めてまいります。

また、今般公表された「アサリの産地表示適正化のための対策」の効果を測るため、改正された食品表示基準Q&Aの施行1か月後を目途に、再度点検調査を行います。

公表資料

＜添付資料＞

広域小売店におけるあさりの産地表示の点検調査結果（令和4年3月18日訂正）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220318_6-2.pdf>

調査の結果を農林水産省ホームページに掲載しております。

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/kanshitoppage.html#tyousa](https://www.maff.go.jp/j/syouan/kanshitoppage.html%23tyousa)

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***違法な年金担保融資を絶対に利用しないで!!　2022/4/1**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_policy/caution/caution\_026/#caution\_003](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/caution/caution_026/%23caution_003)

**■***NEW***認知機能に係る機能性を標ぼうする機能性表示食品の表示に関する改善指導及び一般消費者等への注意喚起について　2022/3/31**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028137/>

　　消費者庁は、インターネット広告において認知機能に係る機能性を標ぼうする機能性表示食品に対し、届出後の事後チェックとして、景品表示法(優良誤認表示)及び健康増進法(食品の虚偽・誇大表示)の観点から表示の適正化について改善指導を行うとともに、SNSを通じて一般消費者等への注意喚起を行いました。

公表資料

認知機能に係る機能性を標ぼうする機能性表示食品の表示に関する改善指導及び一般消費者等への注意喚起について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms214_220331_01.pdf>

**■***NEW***新たな加工食品の原料原産地表示制度に関する情報　2022/3/30**

**「全ての加工食品に原料原産地が必ず表示されます!」チラシの公表について**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/quality/country\_of\_origin/#consumer](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/country_of_origin/%23consumer)

**■***NEW***食品表示基準の一部改正案に関する意見募集の結果の公示について　2022/3/30**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027990/>

**■***NEW***消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業における報告書の公表について　2022/3/30**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028126/>

**■***NEW***各省庁による生活者・消費者向けの教育・情報提供リンク集　2022/3/29**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/consumer_education/information_link/>

**■***NEW***令和3年度 新たな加工食品の原料原産地表示制度等に係る表示実態調査事業　2022/3/28**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/information/research/2021/#food220328](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2021/%23food220328)

**令和3年度 新たな加工食品の原料原産地表示制度等に係る表示実態調査結果**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/food_labeling_cms202_220328_01.pdf>

**■***NEW***令和3年度 特別用途食品(特定保健食品を除く。)に係る栄養成分、特定保健用食品に係る関与成分及び機能性表示食品に係る機能性関与成分に関する検証事業(買上調査)　2022/3/25**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/information/research/2021/#food220328](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2021/%23food220328)

**「令和3年度特別用途食品(特定保健用食品を除く。)に係る栄養成分、特定保健用食品に係る関与成分及び機能性表示食品に係る機能性関与成分に関する検証事業(買上調査)」の調査結果について**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/foods_with_function_claims_220325_0001.pdf>

**■「磁石」や「吸水樹脂ボール」の誤飲に注意! - 飲み込んだ後、開腹手術を要する事故が発生 –　2022/3/24**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_058/>

　　消費者安全調査委員会において、「ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故」に係る事故等原因調査報告書が取りまとめられ、消費者庁長官に対し意見が提出されました。

また、国民生活センターにおいて、「乳幼児による水で膨らむボール状の樹脂製玩具」に係る注意喚起が実施され、消費者庁に対し行政要望が提出されました。

こうした意見や要望を受け、消費者庁では「磁石」や「吸水樹脂ボール(水で膨らむボール状の樹脂製製品(玩具を含む))」などの事故について、事故防止の観点から誤飲した場合の危険性、身近にある製品例、事故事例、注意ポイントなどをまとめました。

子どもの誤飲誤飲事故を防ぐ注意ポイント

誤飲した物そのものが尖っていたり、毒性がある場合はもちろんですが、「磁石」や「吸水樹脂ボール」のように、その特性や誤飲後の体の中での変化等により、子どもにとって非常に危険になるものがあります。子どもの身の回りにある物の危険性を認識することに加えて、子どもの発達や行動特性を知り、事故を防ぐための環境を作りましょう。

〇3歳児の口の大きさは約4cm。これより小さいものは口に入ります。

〇小さな子どもはつかんだものは、何でも口に入れます。

〇子どもは手に持ったものを、落としたり、叩いたり、投げたりします。

このように、子どもが扱う製品は、大人向けの製品とは異なる使用状況が考えられます。以下の点について注意しましょう。

・玩具を購入する際は、子どもの発達や安全に配慮されたものを選びましょう。

・玩具の対象年齢に十分に注意しましょう。

・日頃から破損などがないか点検しましょう。

・設置や保管は手の届かない場所を選びましょう。

・中古品を入手する際には、製品の情報・状態をよく確認しましょう。

将来の事故防止のために

被害の拡大や、同種・類似の事故を防ぐために、消費者庁では消費者が製品やサービスを利用していて発生した事故の情報等を一元的に集約しています。集約・分析された情報は、消費者に対する注意喚起情報として公表されるほか、情報を根拠に行政において必要な対応がとられる仕組みになっています。事故の当事者となった場合には治療することが最も大事ですが、この仕組みを生かすためにも適切な窓口への報告と情報提供への協力をお願いします。

消費者庁公表資料

2022年3月24日

「磁石」や「吸水樹脂ボール」の誤飲に注意!-飲み込んだ後、開腹手術を要する事故が発生-

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_058/assets/consumer_safety_cms205_220324_01.pdf>



**■ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故　2022/3/24**

<https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_021/>

**■株式会社EE21に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/3/24**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028011/>

　　消費者庁は、本日、株式会社EE21に対し、同社が「未来ケアカレッジ」の名称で供給する「介護職員初任者研修」と称する役務に係る表示について、消費者庁及び公正取引委員会(公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所)の調査の結果を踏まえ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第2号(有利誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

株式会社EE21に対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220324_01.pdf>

**■アサリの産地表示適正化のための対策について　2022/3/18**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027959/>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★西友フーズ「ごま油香るプルコギキンパ、サムギョプサルキンパ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：3202.03.02、正：2023.03.02）　2022/3/31**

**★マルヨシセンター「れんこん海鮮詰めフライ」 - 返金／回収　アレルゲン「えび・乳成分」の表示欠落　2022/3/30**

**★へちま産業「飲むへちま水」 - 返金／回収　清涼飲料水製造業許可を取得していない製造施設で清涼飲料水を製造販売したため　2022/3/30**

**★九州コーケン「厳選霊芝エキス、有機黒ごまペースト」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産したため　2022/3/30**

**★九州コーケン「オーガニックショートニングスティックパック」 - 返金／回収　製造許可範囲外で生産したため　2022/3/30**

**★ケイ低温フーズ（Odakyu OXで販売）「厚焼きたまご蒸しパン、九州産クリームチーズ蒸しケーキ」 - 返金／回収　消費期限の表示欠落の可能性（消費期限：2022.3.24、2022.3.26、2022.3.27）　2022/3/29**

**★日東薬品工業「若甦錠S（試供品）」 - 回収　使用期限時点（36箇月）における有効成分シアノコバラミンの含量が承認規格下限付近となっていることが判明　2022/3/28**

**★バロー（勝川店）「塩さば」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：賞味期限22.5.7、正：消費期限22.3.26）　2022/3/28**

**★亀屋良長「焼き鳳瑞（華やぎ）上段」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2022/3/28**

**★長野県連合青果「いちご（茨城県産大粒いちご）」 - 回収　一部商品に消火器の消火剤が付着した可能性があるため　2022/3/28**

**★ドンク「バターサンドブレッド（ホイップ）」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2022/3/24**

**★久野貿易商会「水で膨らむ不思議なボール」 - 返金／回収　対象年齢未満のお子様の誤飲による重篤な事故が発生したことが判明　2022/3/24**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食 中 毒 発 生 概 況 に つ い て　2022/3/31　埼玉県土浦市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/eisei/documents/220331gaikyou.pdf>

１ 探知　令和４年３月22日（火）午前９時半頃、土浦市内の旅館「ゑびすや旅館」から土浦保健所に「利用客1グループ16名中6名が胃腸炎症状を呈し昨日医療機関を受診した。」旨の連絡があった。

２ 事件の概況　土浦保健所の調査によると、3月15日（火）から3月22日（火）に当該施設を利用した1グループ16名のうち6名が３月19日（土）午後２時頃から下痢、発熱、腹痛等の食中毒様症状を呈し、当該患者全員が医療機関を受診していることが判明した。

調査の結果、４名の患者便からカンピロバクター・ジェジュニが検出されたこと、症状及び潜伏期間がカンピロバクター・ジェジュニによるものと一致したこと、患者らの共通食が当該施設に限られること、医療機関から食中毒患者届出票が提出されたことから、土浦保健所は、本日、当該施設が提供した料理を原因とする食中毒と断定した。

なお、患者らは快方に向かっている。

３ 原因施設　屋 号：ゑびすや旅館

業 種：飲食店営業

４ 原因となった食事

３月15日（火）～３月18日（金）に調理提供した食事（朝食、夕食）

５ 原因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

６ 発生日時　令和４年３月 19 日（土） 午後２時頃（初発）

７ 摂食者数　14 名（男性 14 名 20～60 歳代）

８ 患者数　6 名（男性 6 名 20 歳代）

９ 主症状　下痢、発熱、腹痛 等

１０ 検査状況 拭き取り ：10検体（施設、器具）

検 便 ： ８検体（患者：４検体、調理従事者：４検体）

食 品 ： １検体（冷凍カキ ムキ身 加熱調理用）

結 果 ：検査の結果、患者便４検体からカンピロバクター・ジェジュニが検出された。

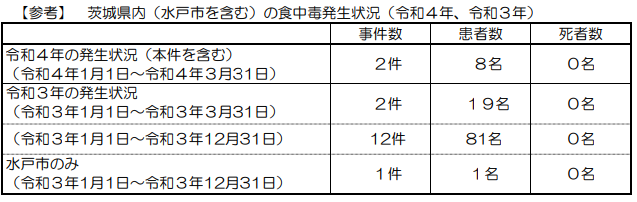
１１ その他 行政処分（土浦保健所）

営業種別：飲食店営業

食品衛生法に基づく営業禁止：令和４年３月31日（木）から

なお、当該店は３月21日（月）から自主休業している。

当該行政処分は、食品衛生法に基づく飲食店営業に対するものであり、旅館業法に基づく旅館業の営業を禁止するものではありません。



**★ウイルスによる食中毒★**

**■宿泊施設で集団食中毒　大学生7人からノロウイルス検出　滋賀・米原**

**3/27(日) 18:54配信　京都新聞**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a91fa6ae6c8858951a5d92914f39df3a3e953fed>

**食中毒事件速報（令和3年度第6号）令和4年3月27日15時30分現在　滋賀県米原市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/324509.html>

食中毒事件速報（令和3年度第6号）

発生日時　令和4年3月24日（木曜日）16時30分

発症者等　発症者数:17人[内訳 男性:17人（18～21歳）、女性:0人、入院:0人]食べた人の数:24人

発生状況（概要）

令和4年3月24日（木）20時頃、米原市の医療機関から「体調不良者複数人を診察した。

他にも体調不良を訴えており、食中毒が疑われる。」と、長浜保健所に連絡がありました。

長浜保健所が調査したところ、発症者は1グループ24人で、3月23日から米原市内の宿泊施設「伊吹高原荘」に宿泊しており、17人が発症していることが判明しました。

これら発症者に共通する食事は同施設が提供した食事のみであること、発症者の症状が類似していること、複数の発症者および調理従事者からノロウイルスが検出されたこと、また、本日発症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、長浜保健所は、同施設を原因施設とする食中毒と断定しました。

症状　下痢、嘔吐、発熱

現在の病状　快復している

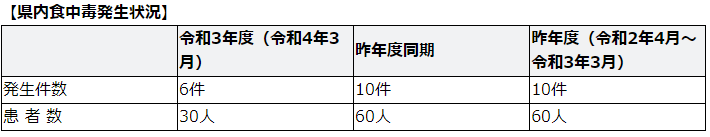
原因食品　3月23日、3月24日に提供された食事

病因物質　ノロウイルス

原因施設　伊吹高原荘、業種:飲食店営業

措置　長浜保健所長は、上記飲食店に対して、令和4年3月27日（日）から令和4年3月29日（火）までの3日間営業停止処分としました。

【発症者の所在地】東京都17人



**■令和４年３月２６日発表分　愛知県鳥羽市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.mie.lg.jp/SHOKUSEI/HP/70294044702.htm>

１　概要

　令和４年３月２２日（火）、愛知県の住民から伊勢保健所へ、３月２０日（日）に鳥羽市内の飲食店を利用した後、複数名が下痢・嘔吐等の食中毒様症状を呈している旨の通報がありました。

　利用施設を管轄する伊勢保健所が調査したところ、同日に当該飲食店を利用したことが確認された２９グループ８５名中３８名が同様の症状を呈していることが判明しました。

　同保健所は、当該グループに共通の食事が他にないこと、複数の患者便からノロウイルスが検出されたこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、同施設が提供した食事が原因の食中毒と断定し、本日付けで営業禁止処分としました。

　なお、患者は全員快方に向かっています。

２　発病状況

１）喫食者　８５名中　　有症者数　３８名（入院患者　０名）

２）有症者の年齢構成



３）有症者　最低年齢（３歳、女）、最高年齢（６４歳、男）

４）主な症状　下痢（水様性１～３０回）、発熱（３７．０～４０．０℃）、吐気、嘔吐（１～３０回）、腹痛

５）発病日時　令和４年３月２０日（日）２１時～３月２３日（水）２３時

３　原因施設

　　所在地　　鳥羽市

　　屋　号　　まるなか水産　マルマ本店

　　業　種　　飲食店営業

４　原因食事

１）令和４年３月２０日（日）昼食

２）主なメニュー：焼きカキ、蒸しカキ、生カキ、カキ飯、カキフライなど

　　　※原因食品は現在調査中です。

**■食品衛生法違反者の公表について　2022/3/18　青森県八戸市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/eiseika/1_1/3297.html>

行政処分等の対象となった食品等　令和4年3月11日に提供された食事

被処分施設等の名称・所在地　おきな　八戸市

行政処分等を行った理由　食中毒（食品衛生法第6条第3号違反）

行政処分等の内容　営業停止（令和4年3月18日～令和4年3月22日の5日間）

行政処分等を行った措置状況　令和4年3月18日営業停止命令

備考　病因物質：ノロウイルス（G1）

**★寄生虫による食中毒★**

**■男性が食中毒…刺し身の盛り合わせ食べ　腹痛や吐き気、アニサキスを検出　飲食店を行政処分に　3/29(火) 10:26配信　埼玉新聞　埼玉県さいたま市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/843fdf8bc9374ffff30108f711392db71a5bb643>

**食中毒事件の公表　2022/3/26　埼玉県さいたま市**

**アニサキス**

<https://www.city.saitama.jp/002/002/010/003/001/p012768_d/fil/gaiyouR40326.pdf>

公表年月　令和４年３月２６日（土)

処分内容　さいたま市保健所は、令和４年３月２６日（土）、浦和区の飲食店に対し、営業停止１日間の行政処分を行いました。営業停止範囲は、生食用鮮魚介類（冷凍品を除く）の調理、提供です。

（冷凍品とはマイナス２０℃以下で２４時間以上の冷凍をしたものです）

事件の概要及び処分の理由

　　令和４年３月２４日(木)、市民からさいたま市保健所に「３月２３日(水)に市内の飲食店を利用したところ腹痛を呈し、医療機関を受診したところアニサキスが摘出された。」との通報がありました。

　　さいたま市保健所が調査したところ、通報者は、さいたま市内の飲食店で３月２３日（水）１９時半頃に食事をし、３月２４日（木）午前２時頃から腹痛を呈していたことが判明しました。

　さいたま市保健所では、以下の理由により当該施設で提供された調理品を原因とする食中毒事件と断定し、当該施設の営業停止処分を行いました。

　（１） アニサキス食中毒の潜伏期間における発症者の喫食状況を確認したところ、生鮮魚介類を含む食事が、当該施設で提供された調理品に限られたこと。

　（２） 発症者からアニサキスが摘出されたこと。

　（３）発症者の潜伏期間（喫食から発症までの時間）、症状等がアニサキスによる食中毒のものと一致したこと。

　（４）患者を診察した医師から食中毒の届出が提出されたこと。

初発年月日　令和４年３月２４日（木）午前２時頃

患者者等の状況　患者１名（男性)（病院受診あり）

患者の主な症状　腹痛、吐き気

原因物質 アニサキス

原因食品 令和４年３月２３日に当該施設で提供された食事（刺身等）

**■食品衛生法違反者を公表します　2022/3/28　目黒区**

**アニサキス**

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/oshirase/shokuhineiseiihan2200310.html>

　公表年月日　令和4年3月28日

施設の名称　中洲流

営業の種別　飲食店営業

適用条項　食品衛生法第6条第3号違反により、改正前の食品衛生法第55条を適用（食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律第2条の規定による）

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容　営業停止命令　令和4年3月28日の1日間について、冷凍品を除く生食用鮮魚介類の調理、提供の一部停止

備考　患者数　1人

主な症状　腹痛

病因物質　アニサキス

原因食品　令和4年3月19日に調理提供した料理（胡麻さば又は炙り〆サバ刺し）

**★自然毒による食中毒★**

**■ウルイと間違え食中毒　有毒性の野草に注意（福島県）　福島県いわき市**

**3/29(火) 14:14配信　福島テレビ**

**植物性自然毒　バイケイソウ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4ba2bd9521866db338baa1fd584b6cd000d76a5d>

**食中毒発生情報（2022年3月）　2022/3/29　福島県いわき市**

**植物性自然毒　バイケイソウ**

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1648455274534/index.html>

　食中毒の発生について（有毒植物による食中毒に対する注意喚起）

　　本市内において、有毒植物による食中毒が発生しましたのでお知らせします。

経緯　令和4年3月28日に、市内医療機関より「バイケイソウ（有毒植物）を喫食したことによる食中毒の疑いがある患者が当院に救急搬送された」との通報を受け直ちに調査を開始しました。

調査結果

　調査の結果、発症状況及び喫食状況などの疫学的調査により、次の事項が判明したことから、本件については、原因食品をバイケイソウ（推定）、病因物質を植物性自然毒とする食中毒と断定しました。

　　　　なお、発症者が喫食した野草は、3月27日に本市内にて発症者がオオバギボウシ（ウルイ）として採取し、発症者の自宅で調理されたものでした。

1　主な症状が、嘔吐、下痢、めまい等であり、バイケイソウによる症状とおおむね一致する。

2　潜伏期間が約１時間30分であり、既知のバイケイソウによる発症期間（喫食後30分から１時間程度）とおおむね一致する。

3　医師より食中毒患者等届出票が提出された。

発生状況

発症者関係

発症日時　令和４年3月28日午前9時30分から

症状　嘔吐、下痢、めまい、眼症状（光過敏）等

発症者数　総数　１名（内訳）女性：１名（発症者の年齢;77歳）

注）患者所在地；いわき市内　１名

入院患者数　１名（なお、患者は回復傾向にある。）

原因食品　野草の酢味噌和え（バイケイソウ（推定））

病因物質　植物性自然毒

原因施設　家庭

野草喫食時の注意事項

１　食用と確実に判断できない植物は、絶対に「採らない、食べない、売らない、人にあげない」ようご注意ください。

２　バイケイソウ（有毒植物）は、食用の野草であるオオバギボウシ（地方名：ウルイ）に酷似しているためご注意ください。

本市管内における食中毒の発生状況（本件を含まない）

テーブル

自動的に生成された説明

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌感染症が発生しました　2022/3/29　岡山県**

**感染症　腸管出血性大腸菌Ｏ１５７**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/772519_7165010_misc.pdf>

　発 生 場 所 備中保健所管内

患 者 １名（女、７０歳代）

発 症 年 月 日 令和４年３月２０日

速 報 年 月 日 令和４年３月２９日

措 置

そ の 他

○患者は、３月２０日から腹痛、血便の症状があった。

○３月２２日に医療機関を受診し、検査したところ、３月２８日にベロ毒素産生性腸管出血性大腸菌Ｏ１５７による感染症と確認されたため、届出があった。

○現在、症状は回復している。

○接触者については、現在調査中である。

備 考

患者等累計（本件を含む）

本年 ４名 （岡山市０名、倉敷市１名含む）

（参考） 令和３年 ８１名

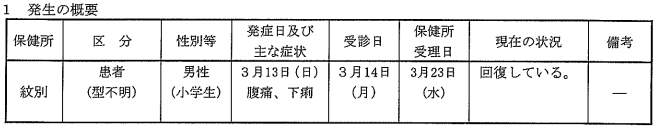
**■（週報）腸管出血性大腸菌感染症（３類感染症）の発生について　2022/3/29**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/6/0/4/6/2/0/_/040322-06daityoukin.pdf>

紋別保健所

　令和4年第12週　3月21日～3月27日に道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生）が発生したのでお知らせします

記



**★ウイルスによる感染症★**

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2022/3/25　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/5/2/2/5/4/4/_/040309-04ityouen.pdf>

　千歳保健所　介護保険施設　17名　ノロウイルス

1. 発生の探知　2022/3/18に、千歳保健所管内の介護保険施設から、複数の利用者及び職員が、おう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　千歳保健所管内の介護保険施設の利用者13名及び職員4名の計17名が、3月15日から3月23日にかけて、おう吐、下痢などの症状を呈し、うち9名が医療機関を受診した（入院したものはいない）

　3.現在の状況　3月25日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

　4.経過

　　3月15日～3月23日　おう吐、下痢等の有症者発生

3月22日　施設から保健所に通報

3月17日から20日　医療機関において有症者のうち5名の便を検査した結果、3名からノロウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

千歳保健所　介護保険施設　13名　ノロウイルス

１.発生の探知　2022/3/17に、千歳保健所管内の介護保険施設から、複数の利用者及び職員　が、おう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　千歳保健所管内の介護保険施設の利用者9名及び職員4名の計13名が、3月12日から3月20日にかけて、おう吐、下痢などの症状を呈し、うち6名が医療機関を受診した（入院したものはいない）

　3.現在の状況　3月25日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

　4.経過

　　3月12日～3月20日　おう吐、下痢等の有症者発生

3月17日　施設から保健所に通報

3月24日　医療機関において有症者のうち4名の便を検査した結果、全員からノロウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2022/3/24　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/5/2/2/5/4/4/_/040309-04ityouen.pdf>

　富良野保健所　幼稚園　19名　ノロウイルス

1. 発生の探知　2022/3/22に、富良野保健所管内の保育所から、複数の園児等が、おう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　富良野保健所管内の保育所の園児19名が、3月17日から3月22日にかけて、おう吐、下痢などの症状を呈し、10名が医療機関を受診し、うち5名が入院した。

　3.現在の状況　3月24日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。また、入院者４名のうち３名は回復し、既に退院している。（入院中の2名も快方に向かっている。）

　4.経過

　　3月17日～3月22日　おう吐、下痢等の有症者発生

医療機関において有症者のうち6名の便を検査した結果、5名からノロウイルスを確認

　　3月22日　保育所から保健所に通報

　5.感染経路　現在調査中

**★違反食品★**

**■違反食品等に対する行政処分等　2022/3/25　福岡県北九州市**

**赤貝　麻痺性貝毒の規制値を超過（1グラム当たり4.8マウスユニット検出）**

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18901262.html>

　公表年月日　令和4年3月25日

違反食品　品名：赤貝

原産地名：中国

販売者氏名：株式会社北水

適用条項　食品衛生法第6条第2号

違反内容　麻痺性貝毒の規制値を超過（1グラム当たり4.8マウスユニット検出）

(規制値：1グラム当たり4マウスユニット）

行政処分等の内容及び措置状況　食品衛生法第59条第1項による回収命令

備考　買上げ検査で発見

**★その他関連ニュース★**

**■カンピロバクター食中毒が多発　鶏肉生食に注意　感染症情報**

**3/31(木) 19:29配信　熊本日日新聞**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9f54d6454a0c95e8ac21c19d2585a8c120068aca>

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が2週連続で減少 - RSウイルス感染症も**

**3/29(火) 14:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2423dcfeaf84ce28e24c3d6be99edcaaa38d2a3f>

**■インフルエンザ“激減”ことしも…理由は?驚きの患者数**

**3/28(月) 18:46配信　フジテレビ系（FNN）**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b6f13a6df2e5632c722e886655dd4b12ed229e7e>